

アジアに架ける虹の橋 アジア生協協力基金活動報告書

2021-2022

公益財団法人 生協総合研究所

アジア生協協力基金は、全国の生協と日本生活協同組合連合会からの寄付金により設立されました。日本国内に拠点を置く NPO・NGO や市民グループなどがアジア・太平洋地域で行う人材育成や組織づくりの活動やアジア・太平洋地域の生協の役職員研修を助成する事業を行っています。

助成組織は、新型コロナウイルス感染症が流行し活動が困難な状況の中、現地の人々の生活向上のために工夫をしながら、地道に事業を進めました。

このダイジェスト版では、一般公募にて募集を行い助成を決定した7組織の2020年度～2021年度に行った活動を要約して紹介しています。

助成組織

6

特定非営利活動法人 アジアキリスト教教育基金

実施国 バングラデシュ

貧困家庭の生計向上のため、また子どもたちが学校に通い続けるために生徒の保護者向けにマイクロファイナンス事業を行い、現地の住民の小売店や農業のビジネスにつながっています。



教師への説明会



マイクロファイナンス事業の説明会

学校の教師がオーガナイザーとなり、保護者でマイクロファイナンスに加わりたい人たちの募り組織化しました。

助成組織

7

特定非営利活動法人 Colorbath

実施国 ネパール

ネパールサルシュカルカ村のコーヒー産業、コーヒー農家を支援することを通して、コミュニティ全体の経済力、人材力の向上を図る活動を継続しています。コーヒーの収穫～精製、輸出までのプロセスを体験する研修を行いました。



配布した苗を植える



コーヒーの実の収穫の方法を学ぶ

収穫に向けての実施研修や、マニュアルを作成し日本からオンラインでの研修も行いました。

助成組織

1

特定非営利活動法人 イランの障害者を支援するミントの会

実施国 イラン

カラジ市の障害児デイサービスが日本の障害者施設のカリキュラムを学び、リハビリや教育に活用することを支援しました。



日本の教材を参考に

施設の様子

日本の取り組みを学ぶオンラインセミナーを行いスタッフの技術が向上しました。イランにおいて障害者団体や州の福祉者とも連携ができました。

助成組織

2

特定非営利活動法人 幼い難民を考える会

地域の保育者を育成し、カンボジアの人たちの手で継続的に「村の幼稚園」が運営できるよう支援をしています。



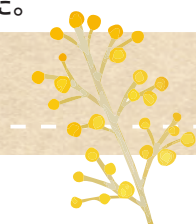
幼稚園の開園式



保育者の研修

研修により保育技術が向上し、カンボジアの教育省の評価を得ました。

実施国 カンボジア



助成組織

3

一般社団法人 Think Locally Act Globally

スリランカのマータレー市で貧困女性生計向上事業としてオーガニック家庭菜園の研修を行っています。メンバーが自分のオーガニック家庭菜園を始めることができました。



研修の様子

土地が限られている世帯向けの
Cultivation Tower



オーガニック肥料の作り方、その肥料を使用した家庭菜園（野菜、果物、ハーブ等）の栽培の方法の研修を行いました。

実施国 スリランカ

助成組織

4

特定非営利活動法人 アーシャ=アジアの農民と歩む会

農村女性が自立的に収入を得られるように手工芸品の縫製技術の習得を支援するとともにマーケティングシステムの確立を進めています。



医療従事者に認められた防護服



縫製技術の研修の様子

インドへの観光客や日本人向けの商品だけでなく、インド国内の販路を考え商品開発を行いました。

実施国 インド

助成組織

5

認定特定非営利活動法人 ICA文化事業協会

「チャウパディ」※の慣習の改善に向け、正しい生理への知識、また安価な生理ナプキンの普及のセミナーを、学校や地域で家族や男性もまきこみ地道に活動を行いました。

※「チャウパディ」とは月経中の女性を不浄とみなし、狭い小屋などに隔離して軟禁するネパールに古くから伝わる慣習。ネパール政府によって禁止されているが、山間部の農村では現在も行われている。



安価な生理用ナプキンの普及促進活動

生理への正しい理解を伝えるグループが現地で8つ結成されました。

実施国 ネパール



ワークショップの様子

一般公募は毎年9月より
募集を開始しています



アジア生協協力基金の
ウェブサイトはこちらです
活動の詳細をチェック下さい！

